

第10回奈良公園地区整備検討委員会 議事要旨

日時：平成27年8月7日（金） 12時00分～14時00分

場所：奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～ 2階 会議室3・4

出席者：委員長 増井 正哉

委員 北口 照美、佐野 純子、塚口 博司、森本 恵史、福村 亘倅、
山出 真司、平方 貴之、中野 聖子、遊津 隆義

事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関係部局 ≪奈良県≫道路環境課、奈良公園事務所、文化財保存課、文化資源活用課、
管財課

≪関係機関≫奈良市景観課、奈良市文化財課、奈良市観光振興課、
奈良市総合政策課

議事 I. 若草山の移動支援施設について

II. (仮称) 登大路ターミナルの整備について

III. 高畑町裁判所跡地について

議事要旨

<若草山の移動支援施設について>

○若草山一重目へのバス案について、検討の結果、走行ルートの問題や、構造物等の整備を行う必要が出てくる等の課題があることを県が報告。ハードによる移動支援施設の整備は凍結し、「構造物の整備を要しないソフト整備による移動支援」の手法を検討するという県の方針について、委員会は了解をする。

○現在、若草山は観光客からも遠い存在となっていると思うので、若草山を人々の身近な存在としてアピールする手段は取るべき。

○若草山や春日山原始林のことをより多くの方に考えていただく1つの機会として、この三重目へのバス案は非常に有効。

○ぐるっとバスの運行による排気ガスや、そのバスを利用しようとする一般車が増加した場合の対策など、原始林への配慮が必要。

○若草山にある既存の鹿規制のフェンスが、生態的に見て本当に有用なのかどうか、検討してはどうか。

○ドライブウェイはカーブが多いため、乗客の転倒対策の検討が必要。

○奈良公園は歩いて楽しむところなので、車だけでなく歩きやすい道の整備も併せて考えてもらいたい。

<(仮称) 登大路ターミナルの整備について>

○ターミナルの位置は非常に良い場所なので、快適に回遊行動を行う出発点として上手く活用していただいたらよい。また、周遊行動に必要な情報提供や案内サインも含めて検討してはどうか。

○ターミナルを核として、そこから先の移動支援をどのようにするのかという議論を今後行っていくべき。また、ニーズが多様化する中で、将来的にも対応可能な交通システムの検討が必要。

○南北の通りの既存建物の規模感から、ターミナル東棟の大きなパラペットが出現することに対し、も

う少し圧迫感を低減できる建築デザインの配慮が必要。

- 若草山などからの眺望景観を大事にするという観点や、県庁の屋上に芝生広場があるという現状を踏まえ、東棟の屋上を広々とした芝生広場にすることでいいのか。東棟について、吉城園周辺地区との眺望景観の調和という点をもう少し詰めていくべき。

<高畑町裁判所跡地について>

○このような歴史的・文化的な価値のある場所に、観光の大きなツールになる場所ができるということはいいこと。また、交流・飲食ゾーンに関しても、この場所に飲食施設があることはすごく魅力的に感じる。ただし、海外の方々がたくさん来られることになると思うが、文化の異なる方に価値を説明できる体制をとり、大切な場所であるということをきちっと情報発信して頂きたい。

○周辺宿泊施設と単価が一桁違う施設であれば他の宿泊施設と競合しない。また、高級な宿泊施設は、本人だけでなく周囲の色々な方を連れてきて頂けるので、是非誘致してほしい。

○計画地周辺の鷺池、浮見堂については、燈花会などのイベントで人気のエリアである。交流・飲食ゾーンについては、その来客者が気軽に利用できる施設にしてもらいたい。

○庭園の価値を活かしながら民間活力を活用して宿泊・飲食施設を整備するという流れは悪くない。ただし、事業者公募に際し、土地利用に対する県の方針を整理し、明確にする必要がある。

○古都の買入地である趣旨を踏まえて活用を検討してもらいたい。また、宿泊施設として困むことがあっても良いと思うが、奈良公園の公園地ということで、公開性が必要ということは当然ある。そのバランスの取り方が、県としての見識を問われるところだと思う。

以上